

新春を迎えて

公益社団法人 岐阜県都市整備協会
会長 細江茂光



公益社団法人岐阜県都市整備協会の会員の皆様をはじめ、岐阜県内の土地区画整理事業に携わっておられます皆様、あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、新春のご挨拶を申し上げます。

さて、日本経済は、安倍内閣による経済政策、いわゆるアベノミクスの推進により、大企業を中心には業績が回復しつつあり、企業の設備投資が大きく伸びたことを主な要因として、平成27年7月から9月期のGDP（国内総生産）は、年率にして1.0%増のプラス成長となりました。

しかし、我が国の人口は、平成23年から4年連続で減少しており、特に出生と死亡に伴う人口の動きを表す自然動態は、8年連続で減少し、年間の減少幅が初の25万人台に達するなど、人口減少が加速する現状が浮き彫りとなっています。

こうした中、政府では、国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、50年後も1億人程度の人口を確保することを目指して、まち・ひと・しごと創生本部を設置し、地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会の創生を目指しています。

このような政府の動きを受けて、地方においては、地域の特性に即した地域課題の解決と活性化に取り組むとともに、人口減少と本格的な高齢社会を迎えるなかで日常生活を支える都市機能を維持するため、社会基盤の最適な活用による持続性あるまちづくりを進める必要があります。

こうしたことから、当協会は、岐阜県で唯一となるまちづくり事業を支援する公益社団法人として、県内各地域の実状やニーズを踏まえながら、土地区画整理事業などによる、地域資源や特徴を活かした機能的で利便性の高いまちづくりを支援していきたいと考えております。

会員の皆様には、引き続き当協会の事業推進に向けて、ご理解、ご協力を賜りますとともに、当協会のさらなる活用をご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、本年も皆様方にとって実り多い年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。